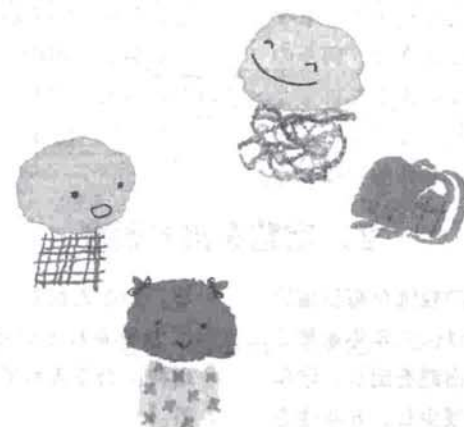


## 學習指導



## 宿題と家庭学習の指導

### 1. 担任の学年と授業を行っている学年

第3章では、「学年」について次のような取り扱いをしている。我々の調査では、「担任の学年（担任あるいは副担任の学年）」と「授業最多学年（授業をもっとも多く担当している学年）」の2つをたずねている。後者の授業最多学年という概念を使ったのは、複式授業や交換授業、専科などを考慮し、担任の学年をもっとも多く授業を持っている学年とが異なることが予想されるからである。本章は、学習指導の内容を明らかにすることを課題としており、学年をみるときは、何年の担任がどのような指導をしているかではなく、何年の児童がどのような指導を受けているかを明らかにすることになる。具体的には、た

例えば、3年学年担任の教師がどのような指導をしているかではなく、3年を指導している教師がどのような指導を行っているかを明らかにするのである。それ故、本章では学年ごとの指導の変化をみるときは、授業最多学年ごとの指導の変化をみるものとする。

なお、調査結果では、担任あるいは副担任をしている教師のうちで、授業最多学年で担任・副担任をしている教師は79.3%およそ8割であり、学年別には次の通りであった。

|     |       |     |       |
|-----|-------|-----|-------|
| 1年生 | 80.6% | 2年生 | 75.0% |
| 3年生 | 78.4% | 4年生 | 76.3% |
| 5年生 | 81.4% | 6年生 | 84.4% |

### 2. 宿題を出す頻度

【小学校では、およそ8割の教師が毎日宿題を出している。学年ごとには、1年生を教えている教師の9割弱が毎日宿題を出し、学年が上がるにつれその割合が減少し、6年生を教えている教師ではおよそ7割まで減ってい

る。力を入れている教科別には、算数と国語に力を入れている教師が頻繁に宿題を出し、理科に力を入れている教師で少なくなっている。】

Q4. 宿題や家庭学習についておたずねします。

A. あなたはどのくらい宿題を出していますか。

図3-1は、どのくらいの頻度で宿題を出しているか調べた結果を示している。小学校では80.4%、およそ8割の教師が「毎日出す」と答えている。さらに、10.3%が「2～3日に1回くらい出す」と答えており、これらを合計するとわが国の小学校では90.7%、9割が毎日ないしは2～3日に1回の割合で宿題を出している。同じ図で、中学校では教科担任制をとっているが、「毎回出す」11.7%、「授業2、3回に1回」20.7%、「授業4、5

回に1回」18.3%、「月に1回」10.2%であった。仮に、中学校では平均して週に30時間授業があり、また、科目ごとの授業頻度の違いがないとすると、週に7回強の頻度で宿題が出されていることになる（30時間×（11.7+20.7÷2.5日+18.3÷4.5日+10.2÷20日）× $\frac{1}{100}$ =7.37）。すなわち、中学生は毎日1人強の先生から宿題が出されていることになり、中学のほうがやや多いことになる。

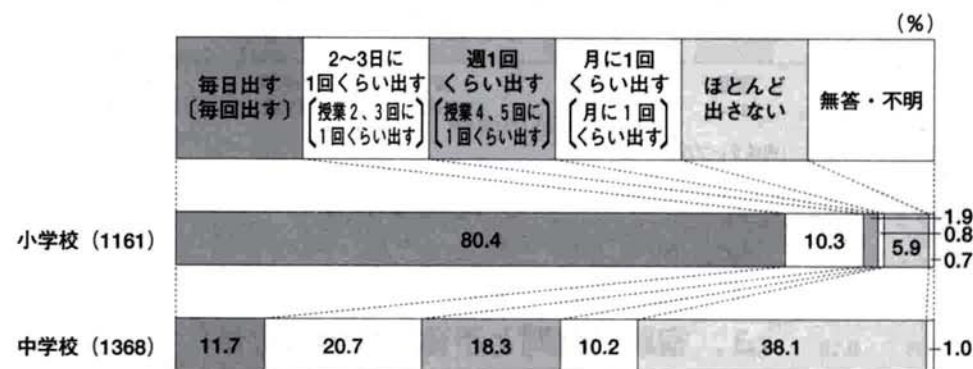
次に、図3-2は、授業最多学年ごとに宿

題を「毎日出す」割合をみたものである。1年生では87.5%、およそ9割弱が「毎日出す」と答えている。2年生以降では学年が上がるにつれて、毎日宿題を出す教師の割合は減少し、「2年生」85.8%、「3年生」83.1%、「4年生」83.5%、「5年生」80.6%となり、6年生で急激に減少し71.3%になっている。1年生と6年生では16.2ポイントの差になっている。

図3-3は、力を入れている教科ごとに宿

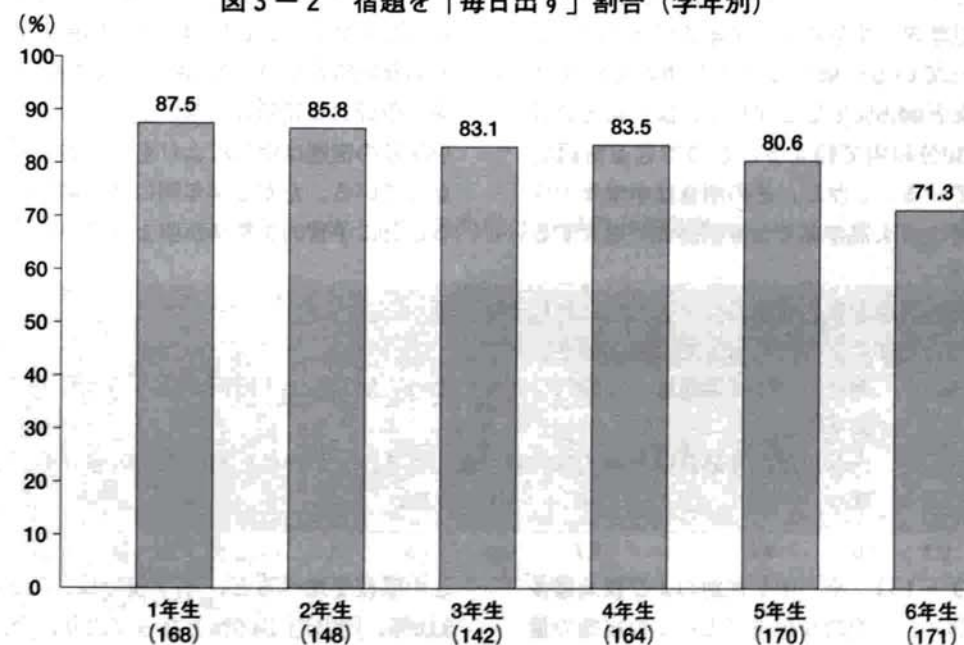
題を「毎日出す」割合をみたものである。この図をみると、力を入れている科目によって教師が宿題を出す頻度が異なっていることがわかる。「算数」がもっとも多く85.3%、つづいて「国語」の83.3%となっている。計算や漢字、音読などが宿題とされていることが予想される。反対にもっとも少なかったのが、「理科」に力を入れている教師であり63.7%しかない。「算数」に力を入れている教師よりも21.6ポイントも少ない。

図3-1 宿題を出す頻度（小・中比較）



注1) ( )内はサンプル数。  
注2) [ ]内は中学校版調査。

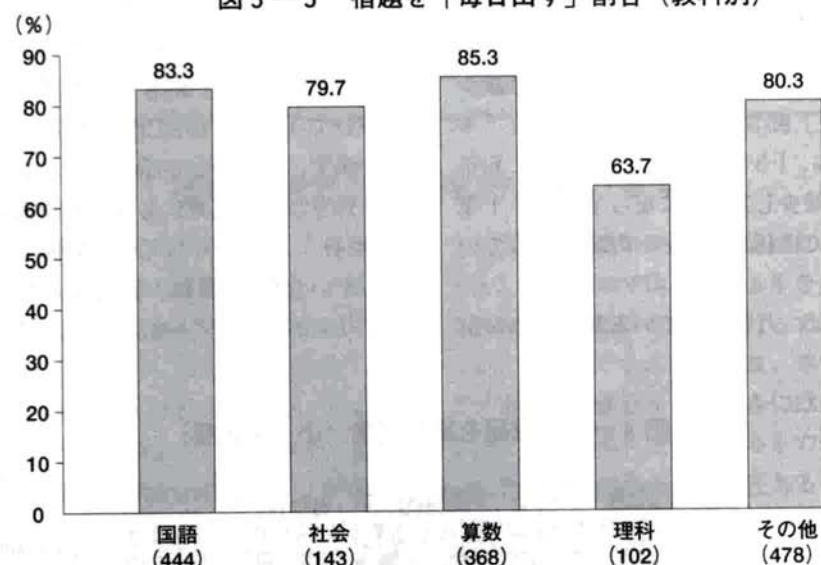
図3-2 宿題を「毎日出す」割合（学年別）



注) ( )内はサンプル数。



図3-3 宿題を「毎日出す」割合（教科別）



注) ( )内はサンプル数。

### 3. 宿題の時間と予習的要素の有無

【平均的な児童にとっての宿題の時間(量)は、小学校では、87.6%が30分までである。また、30分までの合計をもとに学年別の変化をみると、低学年、中学年、高学年で宿題の時間が異なっている。低学年の1年生と2年生は94.4%と94.5%でほぼ同じで、ほとんどの教師が30分以内で終わることのできる宿題を出している。しかし、その割合は中学年では9割弱に減り、高学年では8割弱まで減少する。

宿題の内容が予習的か復習的かでは、中学校では「予習的な内容が多い」12.9%、「半々くらい」12.9%と宿題の内容に予習的な要素が少なくない。これに対して小学校では「予習的な内容が多い」0.6%、「半々くらい」5.7%と予習的な要素は非常に少ない。すなわち、小学校の宿題は中学校よりも復習的な内容になっている。ただし学年別には、学年が上がるごとに予習的な要素が強まっていく。

Q4. 宿題や家庭学習についておたずねします。

A. あなたはどのくらい宿題を出していますか。

SQ1. あなたが出す宿題は、平均的な児童にとってだいたい1日何分くらいの量になりますか。

SQ2. あなたが出す宿題は予習的な内容が多いですか、それとも復習的な内容が多いですか。

表3-1は、小・中学校別および授業最多学年別に、平均的な児童にとっての宿題の量(時間)を示したものである。最初に小学校

と中学校を比べると、小学校では、「15分」33.0%、「30分」54.6%となっており、合計すると87.6%が30分までである。中学校でもほ

は同じ値であり、「15分」27.5%、「30分」57.9%で合計すると85.4%である。

30分までの合計をもとに学年別の変化をみると、低学年、中学年、高学年で宿題を終えるのに必要な時間が異なっている。低学年の1年生と2年生はほぼ同じ値の94.4%と94.5%であり、ほとんどの教師が30分以内の宿題を出している。これに対して中学年では「3年生」89.1%、「4年生」89.3%と9割弱に減り、そして高学年では「5年生」79.3%、「6年生」79.9%と8割弱まで減少する。

つづいて表3-2は、宿題の内容が予習的か復習的かたずねた結果を示したものである。

中学校では「予習的な内容が多い」12.9%、「半々くらい」12.9%と宿題の内容に予習的な要素が少なくない。これに対して小学校では「予習的な内容が多い」0.6%、「半々くらい」5.7%と予習的な要素は非常に少ない。すなわち、小学校の宿題は復習的な内容になっている。ただし学年別には、「予習的な内容が多い」「半々くらい」を合計して1年生では1.8%であったのが、学年が上がるごとに上昇し「2年生」2.7%、「3年生」5.0%、「4年生」6.9%、「5年生」11.3%、「6年生」11.0%と5・6年生では1割を超えるまでになる。

表3-1 宿題にかかる時間

|          | 小学校<br>(1161) | 中学校<br>(1368) | 1年生<br>(168) | 2年生<br>(148) | 3年生<br>(142) | 4年生<br>(164) | 5年生<br>(170) | 6年生<br>(171) |
|----------|---------------|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 1. 15分   | 33.0          | 27.5          | 60.7         | 50.7         | 30.4         | 24.5         | 21.4         | 14.3         |
| 2. 30分   | 54.6          | 57.9          | 33.7         | 43.8         | 58.7         | 64.8         | 57.9         | 65.6         |
| 30分までの小計 | 87.6          | 85.4          | 94.4         | 94.5         | 89.1         | 89.3         | 79.3         | 79.9         |
| 3. 45分   | 8.5           | 7.1           | 4.3          | 2.7          | 8.0          | 6.9          | 17.0         | 11.0         |
| 4. 1時間   | 2.9           | 4.2           | 1.2          | 1.4          | 1.4          | 2.5          | 3.8          | 9.1          |
| 5. それ以上  | 0.1           | 2.0           | 0.0          | 0.0          | 0.0          | 0.0          | 0.0          | 0.0          |

注) ( )内はサンプル数。

表3-2 宿題の内容は予習的か復習的か

|              | 小学校<br>(1161) | 中学校<br>(1368) | 1年生<br>(168) | 2年生<br>(148) | 3年生<br>(142) | 4年生<br>(164) | 5年生<br>(170) | 6年生<br>(171) |
|--------------|---------------|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 1. 予習的な内容が多い | 0.6           | 12.9          | 0.0          | 0.0          | 0.7          | 0.0          | 1.9          | 1.3          |
| 2. 復習的な内容が多い | 90.3          | 70.9          | 95.7         | 95.9         | 86.3         | 89.3         | 85.5         | 86.4         |
| 3. 半々くらい     | 5.7           | 12.9          | 1.8          | 2.7          | 5.0          | 6.9          | 9.4          | 9.7          |
| 4. その他       | 1.5           | 2.0           | 0.0          | 1.4          | 4.3          | 0.6          | 1.9          | 1.9          |

注) ( )内はサンプル数。



#### 4. 宿題の内容

【小学校でもっとも多く出されている宿題は、「学校指定の副教材・問題集・ドリル」であり、およそ9割に達している。小学校の学力補充・家庭学習の第1位は、市販教材を利用して行われているのである。第2位は、昔からの宿題の定番である「音読」であった。学校週5日制による授業時数削減の影響が予想される「教科書の問題」や「授業のやり残り」は、ベスト3をはずれ第4位、第5位に並んでいる。現時点では、宿題は授業のやり残り

の消化であるよりも学力補充・家庭学習であるといえる。

学年別には、「音読」は小学校低学年ではほぼ「必修」に近い宿題であり、学年が上がるごとに頻度は下がるものの、6年生でも70.1%と比較的高い割合になっている。これに対して、「学校指定の副教材・問題集・ドリル」は、学年が上がるにつれて増加し、3年生からは音読に代わって第1位になり、中学年・高学年ではほぼ9割を超えている。】

Q4. 宿題や家庭学習についておたずねします。

A. あなたはどのくらい宿題を出していますか。

SQ3. 宿題としてどのような内容のものを出していますか。1)～7)のそれぞれについて当てはまる番号に○をつけてください。

どのような内容の宿題が出されているか、宿題の中身について、もう少し細かくみてみよう。なお、検討に際しては、「学校週5日制」の導入が授業時間の削減につながり、授業のやり残しが宿題に回ることが多くなったのではないか」という見方の当否に留意しながら行いたい。

さて、図3-4は小・中学校別に、さまざまな宿題の内容について、どれくらい宿題として出すかを4段階の選択肢でたずねたうち、「よく出す」「たまに出す」を合計したものを棒グラフにしたものである。この図をみると、小学校でもっとも多く出されているのは、「2) 学校指定の副教材・問題集・ドリル」89.5%であり、およそ9割にも達している。小学校の学力補充・家庭学習の第1位は、市販教材を利用して行われているのである。第2位は、昔からの宿題の定番である「3) 音読」85.1%であった。後述するように、音読は低学年だけでなく中学年、高学年になっても比較的高い割合で宿題にされている。第3位は、「4) 自作プリント」65.2%であった。教師の多忙化がいわれ、宿題の第1位は市販教材であったりする中で、それでもなお3分の2の教師

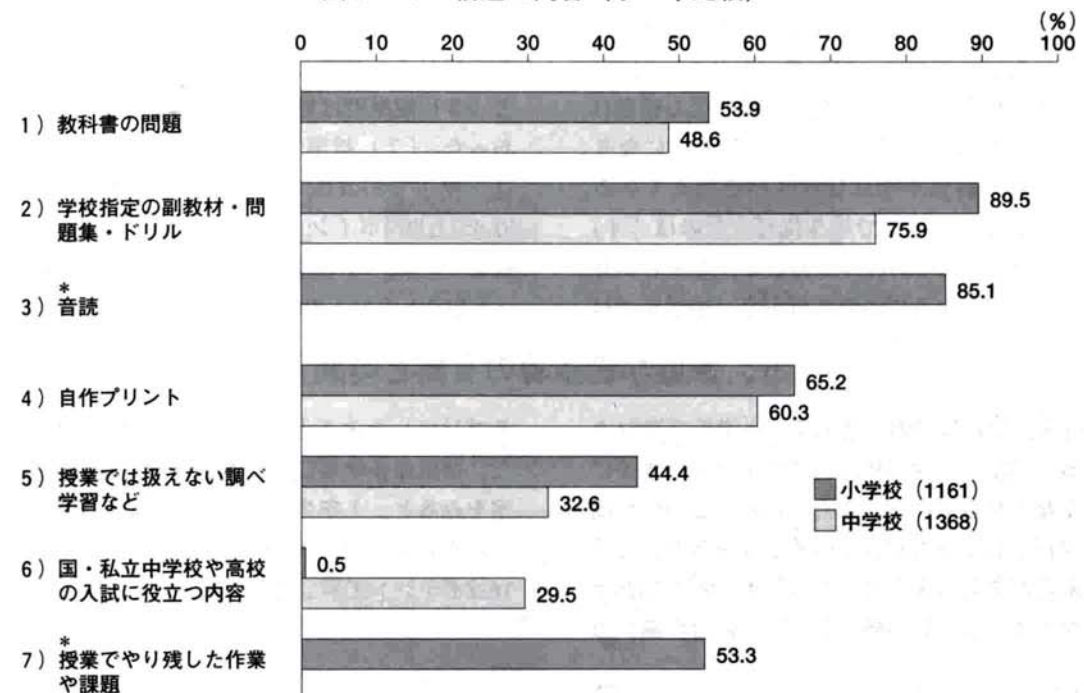
が手作りプリントの宿題を出している。

学校週5日制による授業時数削減の影響が予想される項目は、ベスト3をはずれ第4位に「1) 教科書の問題」53.9%、第5位に「7) 授業でやり残した作業や課題」53.3%が並んでいる。現時点では、宿題は授業のやり残しの消化であるよりも学力補充・家庭学習であるといえる。

なお、「5) 授業では扱えない調べ学習など」44.4%は、調べ学習などの一般化・日常化を反映して半分弱にまで達している。また、「6) 国・私立中学校や高校の入試に役立つ内容」0.5%は、将来増加することもあり得るという想定で入れた項目であるが、現時点では1%にも満たなかった。この値は、高校受験指導を教育課程の中に取り込んでいる中学校で、29.5%の教師が「高校入試対策になる内容」を宿題にしているのと対照的である。

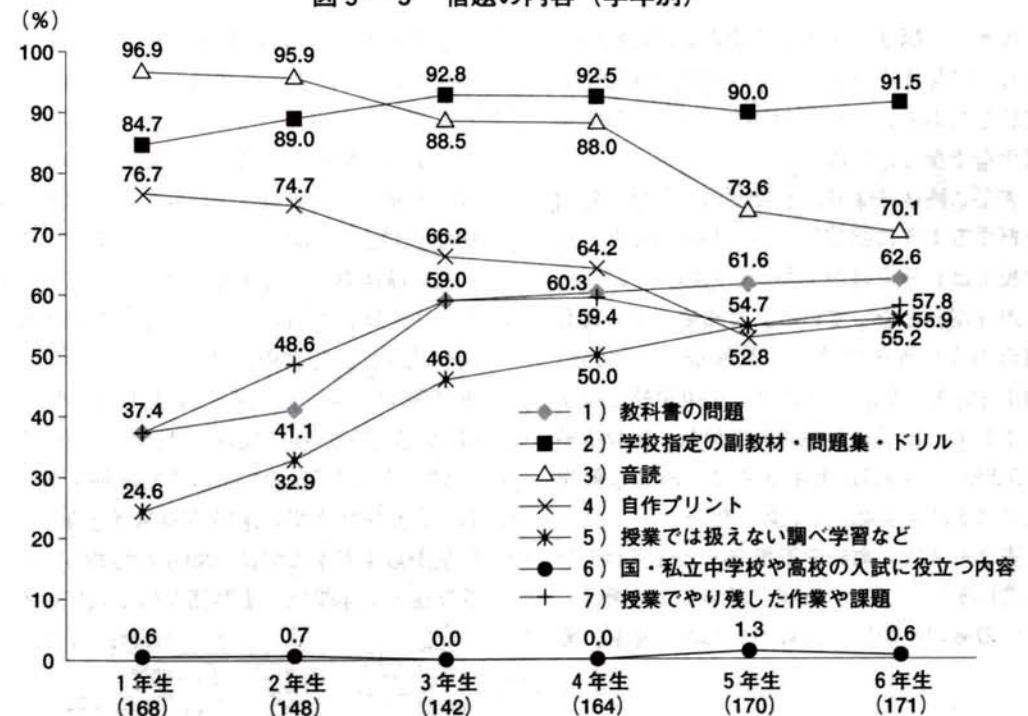
図3-5は、学年ごとに、宿題の内容をみたものである。1年生でもっとも多く出される宿題は「3) 音読」96.9%であった。音読は小学校低学年ではほぼ「必修」に近い宿題といえる。中学年、高学年と学年が上がるごとに頻度は下がるものの、6年生でも70.1%

図3-4 宿題の内容（小・中比較）



注1) ( )内はサンプル数。  
注2) 数値は「よく出す」と「たまに出す」の合計。  
注3) \*は、中学校版調査では項目がない。

図3-5 宿題の内容（学年別）



注1) ( )内はサンプル数。  
注2) 数値は「よく出す」と「たまに出す」の合計。



と比較的高い割合になっている。次に、1年生で第2位の頻度で出されていた宿題は「2）学校指定の副教材・問題集・ドリル」84.7%であったが、これら市販の教材による宿題は、3年生からは音読に代わって第1位になり、中学年・高学年ではほぼ9割を超えている。つづいて、1年生で第3位だったのは「4）自作プリント」76.7%であるが、音読と同様に学年が上がるにつれて減少し、中学年では

6割台、高学年では5割台になる。

その他では、学年が上がるにつれて増加するのは「7）授業でやり残した作業や課題」と「5）授業では扱えない調べ学習など」であった。「7）授業でやり残した作業や課題」は1年生で37.4%であったのが6年生では57.8%と20.4ポイント増加し、「5）授業では扱えない調べ学習など」も24.6%から55.9%へと31.3ポイントの増加をみている。

## 5. 家庭学習指導の有無と時間

【家庭学習指導の実施率は、小学校では64.2%が実施し、中学校の70.7%よりもわずかに少なくなっている。また、どれくらいの時間学習するよう指導しているかをみると、45分未満が7割強を占め、1時間以上が3割弱となっている。最頻値（もっとも割合の高いカ

テゴリ）をみると、「30分」44.7%であった。授業最多学年ごとに家庭学習指導の実施率をみると、1年生では58.9%であったのが学年とともに上昇し6年生では73.1%と、14.2ポイント上昇している。】

Q4. 宿題や家庭学習についておたずねします。

B. あなたは、受け持ちの児童に対して家庭での学習時間の指導をしていますか。

SQ. Bで「はい」と答えた方のみにおたずねします。ふだん何時間程度学習するように指導していますか。

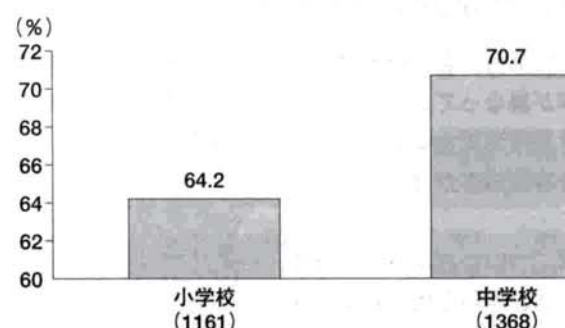
最初に、図3-6で学校段階別に家庭学習指導の実施率をみると、小学校では64.2%が実施しており、中学校の70.7%よりもわずかに少なくなっている。

また、表3-3で、家でどのくらいの時間、学習するよう指導しているかをみると、小学校では45分未満が7割強を占め、1時間以上が3割弱となっている。最頻値（もっとも割合の高いカテゴリー）をみると、「30分」44.7%であった。これに対して中学校では学習するよう指導する時間が増加し、30分未満は5.2%、1時間以上が9割強であり、最頻値は「2時間」42.4%であった。

表3-4は、家庭学習指導の実施率および授業最多学年ごとに家庭学習するよう指導している時間を表にしたものである。まず、家

庭学習指導の実施率をみると、1年生では58.9%であったのが凸凹はあるものの学年とともに上昇し6年生では73.1%と、14.2ポイント上昇している。また、家庭学習の時間では、1年生では92.0%が45分未満（そのうち15分が41.4%、30分が45.5%）であり、あまり長い時間学習するようには指導していない。2年生では、さらに学習するよう指導する時間が減り、45分未満が95.0%に達する。3年生以降は、45分未満が減少し6年生では37.6%まで下がり、反対に1時間以上が2年生の3.7%から6年生の62.4%まで増加する。なお、視点を変えて、最頻値の推移をみると1年生から4年生までは「30分」であったのが、5年生、6年生は「1時間」になっている。

図3-6 家庭学習指導実施率（小・中比較）



注) ( )内はサンプル数。

表3-3 家庭学習指導の時間（小・中比較）  
(%)

|           | 小学校<br>(1161) | 中学校<br>(1368) |
|-----------|---------------|---------------|
| 1. 15分    | 12.5          | 5.2           |
| 2. 30分    | 44.7          |               |
| 3. 45分    | 14.2          | 23.4          |
| 4. 1時間    | 24.8          |               |
| 5. 1時間半   | 2.1           | 13.8          |
| 6. 2時間    | 0.5           | 42.4          |
| 7. 2時間半以上 | 0.0           | 11.5          |

注) ( )内はサンプル数。

表3-4 家庭学習指導の有無と時間（学年別）  
(%)

|                     | 1年生<br>(168) | 2年生<br>(148) | 3年生<br>(142) | 4年生<br>(164) | 5年生<br>(170) | 6年生<br>(171) |
|---------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| A. 児童への家庭学習時間の指導の有無 |              |              |              |              |              |              |
| 1. はい               | 58.9         | 54.7         | 65.5         | 67.7         | 66.5         | 73.1         |
| 2. いいえ              | 41.1         | 45.3         | 34.5         | 32.3         | 32.9         | 25.7         |
| B. 学習するよう指導する時間     |              |              |              |              |              |              |
| 1. 15分              | 41.4         | 33.3         | 5.4          | 2.7          | 2.7          | 0.0          |
| 2. 30分              | 45.5         | 56.8         | 64.5         | 55.9         | 25.7         | 26.4         |
| 3. 45分              | 5.1          | 4.9          | 11.8         | 21.6         | 30.1         | 11.2         |
| 45分未満小計             | 92.0         | 95.0         | 81.7         | 80.2         | 58.5         | 37.6         |
| 4. 1時間              | 7.1          | 3.7          | 17.2         | 17.1         | 38.1         | 53.6         |
| 5. 1時間半             | 0.0          | 0.0          | 0.0          | 1.8          | 2.7          | 7.2          |
| 6. 2時間              | 0.0          | 0.0          | 0.0          | 0.0          | 0.0          | 1.6          |
| 7. 2時間半以上           | 0.0          | 0.0          | 0.0          | 0.0          | 0.0          | 0.0          |
| 1時間以上小計             | 7.1          | 3.7          | 17.2         | 18.9         | 40.8         | 62.4         |

注) ( )内はサンプル数。



## 6. 都県別にみた宿題と家庭学習指導

【調査対象となった6つの都県ごとに宿題頻度、家庭学習指導実施率が異なっていた。福岡県が宿題頻度、家庭学習指導実施率ともに高い。岡山県と熊本県は宿題頻度が高い。岩

手県は家庭学習指導実施率が高い。新潟県と東京都は、宿題頻度も家庭学習指導実施率も低い。】

Q4. 宿題や家庭学習についておたずねします。

A. あなたはどのくらい宿題を出していますか。

B. あなたは、受け持ちの児童に対して家庭での学習時間の指導をしていますか。

本調査は、6つの都県を対象に質問紙調査を行っているが、6つの都県ごとに、宿題の出し方、家庭学習指導のさせ方が異なっていた。

表3-5は、6つの都県ごとに、「A. 宿題を毎日出す」「B. 宿題の分量を30分以上出す」「C. 復習的な内容の宿題が多い」「D. 家庭学習の指導をする」「E. 1時間以上の家庭学習を指導している」の5つの項目への回答を整理したものである。

「A. 宿題を毎日出す」からみると、もっとも多いのは岡山県96.9%で、岡山県ではほぼすべての先生が毎日宿題を出している。これにつづくのが福岡県91.2%、熊本県90.2%でともに9割を超えている。西日本の3県が宿題の頻度が高くなっている。反対に少ないのは東京都60.9%で、岡山県とは36ポイントもの差がある。また、新潟県69.5%、岩手県72.8%と、この両県も低い割合になっている。

つづいて、「B. 宿題の分量を30分以上出す」をみると、宿題の頻度と同様、西日本の3県が高い割合になっているが、宿題の分量については福岡県77.4%がもっとも多く、つづいて熊本県72.8%、岡山県70.8%の順になっている。また、宿題の分量がもっとも少な

いのは新潟県51.2%で、つづいて東京都56.0%となっている。宿題の頻度と分量については、西日本の3県が高い割合で、東京都と新潟県が低い割合になっている。さらにこうした傾向と「C. 復習的な内容の宿題が多い」との間にも高い相関があり、西日本の3県で復習的内容の宿題が多く、東京都と新潟県で少ない。

「D. 家庭学習の指導をする」をみると、家庭学習指導実施率が高い都県は岩手県73.8%と福岡県71.3%の2県で7割を超えている。反対に少ない都県は、第1位が宿題の頻度をもっとも高かった岡山県でその値は56.2%で、岩手県よりも17.6ポイント少なくなっている。岡山県の次に少ないのは東京都59.2%、つづいて新潟県62.1%となっている。「E. 1時間以上の家庭学習を指導している」は、家庭学習指導実施率の少ない3つの都県で低くなっている。

最後に、図3-7を用いて、都県ごとの宿題と家庭学習指導の特徴をまとめると、福岡県が宿題頻度も家庭学習指導実施率も高い。岡山県と熊本県は宿題頻度が高い。岩手県は家庭学習指導実施率が高い。新潟県と東京都は、宿題頻度も家庭学習指導の実施率も低い。

表3-5 宿題と家庭学習指導の比較（都県別）

|                      | 岩手県<br>(191) | 新潟県<br>(203) | 東京都<br>(184) | 岡山県<br>(226) | 福岡県<br>(181) | 熊本県<br>(174) |
|----------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| A. 宿題を毎日出す           | 72.8         | 69.5         | 60.9         | 96.9         | 91.2         | 90.2         |
| B. 宿題の分量を30分以上出す     | 68.7         | 51.2         | 56.0         | 70.8         | 77.4         | 72.8         |
| C. 復習的な内容の宿題が多い      | 88.8         | 86.4         | 86.8         | 95.1         | 89.8         | 93.5         |
| D. 家庭学習の指導をする        | 73.8         | 62.1         | 59.2         | 56.2         | 71.3         | 64.4         |
| E. 1時間以上の家庭学習を指導している | 31.2         | 19.0         | 22.9         | 22.9         | 31.1         | 38.4         |

注) ( ) 内はサンプル数。

図3-7 宿題と家庭学習指導の特徴（都県別）

